

道後地区社協関連ニュース (2022.3~2023.2)



①「福祉&防災講座」 8月18日

地区で実際に活動している自主防災組織の取り組みや過去に発生した大規模災害における活動等、リレー方式でお話ししていただきました。福祉と防災が連携し、未曾有の災害に備えて「普段から顔の見える関係を作っておくこと」の大切さを改めて感じることができました。

② 地域福祉活動計画 第2期 作成！ 9月14日~12月5日

令和5年度から9年度までの福祉計画を作成しました。この5年間では、福祉と防災が連携し「地域防災力」の向上に力を注ぐとともに、地域福祉活動の一層の充実発展のために各事業に積極的に取り組みます。

③ 第11回 道後温泉入浴体験事業 10月26日

コロナ禍のため3密を避け、飛鳥乃湯泉、椿の湯、第四分湯場、冠山、空の散歩道、湯神社、中嶋神社等の見学、説明を聞き故郷の歴史を学びました。

④ 第9回 サロン交流会 11月29日

道後地区の65歳以上の高齢者が、心身機能の維持向上及び介護予防を目的に、開催している3サロンが、1年間の実績表を持ち寄り、工夫した点や苦労した事などを話し合い、来年度の活動の参考になるように情報交換をしました。

地域の話題

6月~翌2月の予定で 道後公民館エレベータ設置工事

工事期間中は、騒音や振動、また、工事車両の出入り等で駐車場や駐輪場のご利用などご不便をおかけしますが、完了後は、完全バリアフリーで誰もが安心してご利用いただける親しみやすい施設になりますのでご理解をお願いいたします。1階の市役所道後支所は通常どおりの業務を行います。(道後支所長 水口)



編集後記

コロナの重症者になった場合、死亡率が6~8波と漸増していてなお怖いですね。

編集委員
啓発調査部長 藤井 康

道後地区社会福祉協議会 道後福祉だより

道後地区の動き

面積	2.1km ²
世帯数	5,854世帯
人口	11,172人
男性	5,144人
女性	6,028人
65歳以上	2,852人
高齢化率	25.5%

(令和5年2月1日現在)
編集・発行
道後地区社会福祉協議会

マイ・タイムラインの内容をみんなで共有して
風水害時の逃げ遅れを0(ゼロ)に!



もしも...の災害に備えて自分や家族がとるべき行動をあらかじめ決めた防災行動計画が「マイ・タイムライン」です。

■近年大規模な風水害が毎年発生し、多くの逃げ遅れによる被害が出ています。

■風水害は地震と違い事前に避難できる→普段から災害時の行動計画を作り逃げ遅れを0(ゼロ)に!

マイ・タイムラインを作ることは、自分や家族大切な人の命をどう守るかを考えることです。いつ、どこに避難するか「我が家のマイ・タイムライン」を家族みんなでつくりましょう!

【作成手順】

まず記入シートを準備しましょう。(注1)

1. 自宅の危険性をチェック→ハザードマップで確認(注2)
2. 避難先をチェック
3. 家庭の状況をチェック→避難所への移動手段と非難のタイミングを決める
4. 非常持ち出し品および備蓄品をチェック
5. 防災行動=マイ・タイムラインを決める

(注1) マイ・タイムラインシートは松山市ホームページに掲載しています。また、市役所および支所に備えています。

(注2) 赤い表紙の「松山市総合防災マップ」および「道後地区福祉&防災マップ」のハザードマップをご覧ください。

[資料提供: 松山市防災危機管理課 まつやま総合防災マップ]

我が家の防災行動計画 マイ・タイムライン

防災マップ・ハザードマップでチェック...自宅の危険性は?		
洪水 ☐ あり(洪水浸水想定区域)川 自宅が指定される ☐ 0.5m未満 ☐ 0.5~3m 浸水の深さは? ☐ 3~5m ☐ 5m以上 ☐ あり(建物の倒壊が想定される区域) ☐ なし	土砂災害 ☐ あり(土砂災害(特別)警戒区域)内 ☐ なし	高潮 ☐ あり(高潮浸水想定区域) 自宅が指定される ☐ 0.5m未満 ☐ 0.5~3m 浸水の深さは? ☐ 3~5m ☐ 5m以上 ☐ あり(建物に高波がかかる) ☐ なし
避難行動のチェック...避難する場所は?		家族の状況のチェック...避難するタイミングは?
避難先候補1 ☐ 避難先候補2 ☐	【移動時間】 分	避難に支援が必要な人(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)が ☐ いる → 高齢者等避難 の発令で避難! ☐ いない → 避難指示 の発令で避難! ※その他の避難のタイミング(あれば記入) []
警戒レベル 1 大雨や台風の前 早期注意情報	☐ 最新の天気予報をチェック ☐ 家の周りの風雨で飛ばされそうなものを固定 ☐ 親戚や知人に避難させてもらうことを連絡	☐ 家族の今後の予定や居場所を確認 ☐ 非常持出品(備蓄品など)を確認 ☐ 必要な物の買い出し
警戒レベル 2 大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意報	☐ 気象情報をチェック ☐ 携帯電話・モバイルバッテリーを充電	☐ 避難する場所、避難経路を再確認 ☐ 避難しやすい服装に着替える
警戒レベル 3 高齢者等避難 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報	☐ 高齢者等避難 発令で避難場所に避難開始 ☐ 独自のタイミングで避難() ☐ テレビやインターネット、携帯電話で避難所の開設状況や雨量・水位などを確認 ☐ 家の戸締りをする ☐ 非常持出品を玄関に置く	
警戒レベル 4 避難指示 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報 高潮特別警報	☐ 避難指示 発令で避難場所に避難開始 ☐ 携帯電話などで最新の状況を確認	
警戒レベル 5 緊急安全確保 大雨特別警報	☐ 命の危険 直ちに安全確保!	すでに災害が発生・切迫している状況! 自宅内や近くの建物などで、少しでも被害を受けるおそれのない場所に移動!

家族構成や生活環境が変われば、マイ・タイムラインを見直しましょう!

赤い羽根 共同募金のお礼

道後地区共同募金会

地区のみなさまはじめ、各町内会、民生児童委員の方々には、令和4年度共同募金に、積極的にご協力いただき、誠にありがとうございました。今年度は、感染予防をしながらの募金活動でしたが、お陰様で多額の募金を集めることができました。

共同募金の一部は地域に還元され、高齢クラブ・青少年健全育成・ふれあいいきいきサロン事業等に活用されています。今後とも、募金の趣旨をご理解いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



地域の65歳以上の人が作る、自分達のためのサークルです。道後地区には3サロンあります。

近隣の知り合いを増やし、ともに介護予防の世界を学びながら、地域の未来を創っていきましょう。

(2千円までの年会費と市社協の補助金、共同募金配分金からの支援で運営されます。見学自由です。)

サロン活動は、社協の最も大きな事業で、社協OBも大勢支援しています。

令和4年度のサロン活動は、昨年に引き続き新型コロナの影響で中止になったり、時間も1時間に短縮となり、歌や演奏や茶話会などはなく、脳トレ中心で体操・レクリエーション・手芸など限られた中で行っています。



サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
①フレアイサロン石手 (男性4名 女性20名)	村井 和子	石手分館	第1・2・3水曜日	13~15時
	脳トレ・まつイチ体操・ウクレレ演奏・革細工(お薬手帳カバー作り)			
②道後サロン・マドンナ (男性3名 女性16名)	宮内 哲男	道後公民館	第2・4火曜日	10~12時
	脳トレ・ゆげゆげ体操・ディスコン・フラワーアレンジメント			
③フレアイサロン道後 (男性2名 女性18名)	内山 敏枝	道後公民館	20日(除土日祝)	10~12時
	脳トレ・小物作り・「写真立て」・「クリスマスツリー」・「ひな飾り」			



道後小学校

校長 井上 英明

コロナ禍に入って3年目となる今、学校では子どもの学びを止めないとの姿勢で様々な教育活動に取り組んでいます。子どもたちがコロナに負けないで頑張っている様子を、福祉と人権教育の分野で皆さんに紹介をいたします。

1 大切にしたい みんなの心

(4年生：総合的な学習の時間)

身近な福祉について調べる活動を通して、共に生きる社会を目指し、自分たちにできることを考え、実践しようとするのをねらいとしています。2学期は、外部講師の方を招き、視覚障がい、聴覚障がい、車椅子、高齢者の4つのコースに分かれて、障がいのある方や高齢者などの気持ちや接し方を考える活動に取り組みしました。この学習を通して、自分たちができることや未来の町づくりについて、考えるきっかけになればと思います。「未来をつくるのは、自分たちだ。」「こんな道後の町にしたい。」そんな思いを大切にしながら、道後を愛する子どもに成長してほしいと願っています。

2 命・心・体を考える参観日

(全学年：人権集会及び授業公開)

児童・保護者・教職員ともに、お互いがかけがえのない存在であることを理解し、尊重し合うことの大切さを考え、それぞれが人権感覚を磨き、人権問題の解決に向けて行動しようとする気持ちを高めることをねらいとしています。今年度は、6月に参観日を実施しました。まず、朝の道後タイムでは、テレビ放送で人権集会を行いました。集会委員が進行役となり、各学年代表2名による人権標語の発表を行いました。5校時には、全学年が授業を公開しました。5年生の道徳科では、「自分を好きになろう」の目標で、自分を見つめる授業をしました。友達が、自分のことをどのように見ているのか、ということも意識しながら自分を見つめ直しました。また、自分のよさを見つけてくれた友達に対しても、よい点を見つけないかという気持ちが増えて、人権意識が高まりました。

今回は、2つの分野での活動を紹介しましたが、地区の皆さん方にも、子どもたちの学んでいる姿を、直接見ていただく機会が来ることを願っています。



段差で悪戦苦闘の車椅子体験



テレビ放送での人権集会



道後中学校

校長 清川 宜博

2011年の東日本大震災や2018年の西日本豪雨を教訓とし、自分や自分の大切な人たちの命を守るため、道後中学校では総合的な学習の時間に、全ての学年で「防災学習」に取り組んでいます。各学年のテーマは、1年生：「自助～自分の命を守る～」、2年生：「公助～自治体と連携した防災対策～」、3年生：「共助～地域とともに学ぶ防災～」としています。松山市の防災・危機管理課や愛媛大学防災情報研究センター等の協力を得て、大学の先生や大学生の防災リーダーに講師を務めていただき、各学年のテーマに沿ったワークショップをとおして防災について学んでいます。今年度は、次の二つを重点内容としました。

全学年で「マイ・タイムライン」を作成

避難段階に応じて取るべき行動が変わってきます。自宅近辺の危険区域を把握し、家族の状況に合わせて避難する経路や手順等を具体的にまとめた「マイ・タイムライン」の作成に取り組みしました。この活動では、道後地区社会福祉協議会からいただいた「道後地区福祉&防災マップ」を活用させていただき、タイムラインの作成が容易になりました。本当にありがとうございました。

3年生が「避難所運営ゲーム(HUG)」に挑戦

近年話題となっている「避難所運営ゲーム(HUG)」に3年生が取り組みました。道後中学校が避難所に指定されたことを想定し、地域の方に開放するスペースと教育スペースの有用な振り分けをしたり、高齢者やペット連れなど非難された方それぞれに必要な対応等について考えたりすることで、防災について学びを深めました。

今は、大規模地震や異常気象などがいつ起こるか分からない状況です。今後も、時代の流れや地域の特性に沿った防災学習を進めていきたいと考えています。


